

競 技 注 意 事 項

1. 本大会に適用する競技規則は、2026年度（公認競技）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項により実施する。
2. 練習については支部連絡事項を参照の上、指定区域内で行うこと。その他審判員・競技役員の指示に従うこと。室内走路は原則、開放しない。

3. 競技者の招集について

- (1) 第1チェック（招集）場所は競技場正面玄関横（フィニッシュ側）に設ける。最終点呼は現地とする。
- (2) 現地点呼開始時刻および現地点呼完了時刻は、すべてプログラムの記載通りとする。

種 目	現地点呼開始時刻	現地点呼完了時刻	種 目	現地点呼開始時刻	現地点呼完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	棒 高 跳	40分前	30分前
フィールド競技	30分前	20分前			

(3) 招集方法

- ア 選手または代理人は、トラック種目の現地点呼開始時刻までに腰ナンバー標識を受け取り、現地点呼場所へ移動すること。
- イ 出場しない競技者又は代理人は、競技者招集所付近の掲示板に貼り出された出場競技者一覧表に取り消し線を施すこと。
- ウ 受付終了後速やかに移動し、トラック競技は25分前、フィールド競技は30分前には、出発地点および試技場に待機し、出発係等該当審判から最終点呼を受けること。最終点呼に遅れたものは棄権したものととして処理する。
- エ 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨競技者係と当該審判に申し出て出場を確認する。
- オ 混成競技についても、通常のトラック種目・フィールド種目と同様の招集・点呼とする。混成競技係を設けないので棄権する場合は競技者係に申し出ること。（混成競技招集所や混成競技控え場所は設置しない）

4. 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、規律ある行動をすること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) フィールド競技者の退場については、当該競技役員・マーシャルの指示に従う。
- (3) 競技場内には、映像機器やミュージックプレイヤー、またスマートフォン等の通信機器を持ち込むことは出来ない。また、練習器具（メディシンボール等）も持ち込むことは出来ない。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、指定の大きさで使用し、必ずユニフォームの胸背に確実に付けること。（原則1枚につき、4カ所を止める）ただし、跳躍競技については、胸・背のいずれかでもよい。
- (2) トラック競技出場者は腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツ右側後方に番号が見えるように付けること。男女4×400mRについては、2・3走はパンツ左側、4走はパンツ右側後方に付けること。
- (3) 3000m以上の競技（競歩も含む）は、プログラム記載のアスリートビブスを競技車係まで持参し点呼を受け、その後競技者係で配布されたアスリートビブス（黄色）及び腰ナンバー標識を使用すること。

6. 走路順・競技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- (2) 準決勝以降のトラック競技の組み合わせ及び走路順、フィールド競技の試技順については、番組編成員により厳正に抽選し、決定する。

7. 同タイムでのプラス進出者確定について

- (1) 800m以下の距離のトラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは写真判定を拡大し、細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差を判定する。
- (2) 判定が不可能な場合は、本人または代理人によって抽選する。ただし、800mでは安全上問題のない範囲で、スタートからブレイクラインまでのセパレートコースについては、一つのレーンに複数の選手を入れて競技を行う。
- (3) リレーを除く1500m以上のトラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは着差判定は行わずに対象者全員を次のラウンドに進出させる。

8. 競技について

- (1) 事故防止のため、短距離競技のフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走り、安全に減速すること。また、4×100mRの全てのバトンパス後、4×400mRの1走と2走のバトンパスの後も自分のレーンで減速、停止して安全を確認すること。
- (2) リレーのオーダーの提出は、予選・準決勝・決勝とも1組目の現地点呼完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。提出時間に遅れたチームは、当該種目を棄権したとみなして処理する。また、マーカーは主催者が用意する。
※申告したオーダー用紙の変更は、現地点呼完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
※現地点呼完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更（オーダー用紙の差し替え）は認められない。
※医務員の判断による変更は出場者のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。
- (3) TR16.8により、不正スタートをした競技者は1回目で該当レースを失格とする。混成競技においては、1回のみ許されるが、その後に不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
「On your marks」あるいは「Set」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したとき、審判長がイエローカードを示し警告を与える場合がある。同一種目において2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場は妨げない。
- (4) トラック競技におけるTR5.2に違反するシューズでの出場は認めない。
- (5) フィールド競技においてはTR5.2は適用されない。
- (6) CR18.5及びTR16.5に関する「スポーツマンにあるまじき行為」や「不適当な行為」が認められた場合には審判長の権限により警告が与えられる。これに該当する警告を2度与えられた競技者は失格となり、それ以降の本競技会における全ての種目への出場権を失う。また、監督・コーチ等にも警告が与えられる場合がある。
- (7) 競技場内での助力は一切禁止する。コーチングエリアやスタンドから助言を与える場合はマーシャルか該当種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の妨げにならないように注意すること。また、コーチングエリアでは、映像機器の画像を競技者に見せることが出来る。

- (8) 男女の競歩競技においては制限時間を設ける。男女とも50分以内に4600mを通過できなかった者は競技を中止させ失格とする。
- (9) 競技者の服装は所属校の定めたユニフォームを着用し、清潔をむねとし不体裁にならないこと。特に、リレーに出場する選手は上下統一したユニフォームを着用することが望ましい。(レーシングとランニングの混在は許容する。)
- (10) フィールド競技において滑り止めを必要とする場合は各自で用意するか担当審判員より小分けしてもらうこと。
- (11) 走高跳のマーカ―は主催者が用意する。
- (12) 走女子800m決勝は、セパレートレーン10名で行う。9番を2レーン、10番を7レーンに入れるが、空きレーンが生じた場合は、そのレーンを使用する。

9. 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の結果及び行為に対する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が公式発表されてから30分以内、当日に次のラウンドが行われる場合は15分以内に行われなければならない。(その時の基準時刻は、場内アナウンスでの結果発表が終了した時刻とする。)抗議者は、担当総務員に申し出た後、口頭で審判長に抗議を行うものとする。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。抗議者が審判長裁定を不服として更に上訴する場合、上告申立書(大会本部に用意)に必要事項を記載し、預託金10,000円を添えて申請すること。

10. バーの上げ方について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子	1.20 (練習)	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	…	1.70	1.73	1.76	……
女子	1.00 (練習)	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	1.41	……	
- (2) 走高跳・棒高跳で第1位を決める場合、及び全道大会出場権決定の場合の上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- (3) 混成競技については、フィールド審判長が決定する。

11. フィールド競技の予選について

フィールド競技の予選は、24名を超えた場合でも競技時間が2時間を超えないと予測される場合は、行わない。

- 12. 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、やりは検査を受けて合格したものを使用できる。検査場所は、メインスタンドに向かって右側の器具庫前とし、時間は次の通りとする。

大会1日目	(5月21日)	なし
大会2日目	(5月22日)	8:30～ 9:00
大会3日目	(5月23日)	8:30～ 9:00

借り上げたやりは、当該競技の決勝終了後、当該投擲審判員が返却する。

- 13. 混成競技においてどの順位についても二人以上の競技者が同じ得点をとった場合は同成績とする。
- 14. 各種目で全道大会出場権の最終枠に複数の競技者がおり、規定のルールで着差や順位の確定が出来ない場合には対象競技者全員に全道大会出場権を与える。ただし、走高跳と棒高跳については、対象競技者により順位決定戦を行い、最終枠の順位を獲得した競技者にのみ全道大会出場権を与える。
- 15. 表彰は、学校対抗(男女総合優勝校)のみ行う。なお、個人は6位まで賞状を授与する。競技方法は学校(男女別)対抗とし、入賞は8位までとする。1位(8点)、2位(7点)、3位(6点)……8位(1点)
個人表彰は行わない。競技終了後にエントランスホール内の配布場所にて各自持参すること。
- 16. ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ行う。
- 17. 全道大会出場権を得た競技者の監督は、大会終了後に全道大会申込みを完了させること。全道大会参加枠・標準記録については、本大会のプログラムで確認する。